

# 多摩市教育委員会

## 不登校対策について



# 【多摩市の教育】

# 小学校 (17校、R5.5.1現在児童・学級数)

学校名	校長名	児童数 (単位:人)							学級数 (単位:学級)							特支学級	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	種別	数
多摩第一小	木下 雅雄	91	82	103	96	103	118	593	3	3	3	3	3	3	18		
多摩第二小	井戸 しのぶ	54	68	70	97	74	82	445	2	2	2	3	2	3	14	情緒	7
多摩第三小	坂野 真貴子	66	66	69	51	46	48	346	2	2	2	2	2	2	12		
連光寺小	関口 寿也	60	49	66	67	68	50	360	2	2	2	2	2	2	12		
北諏訪小	岡 芳弘	87	73	92	92	82	87	513	3	3	3	3	3	3	18	聴言	4
東寺方小	伊藤 智子	93	101	83	79	88	61	505	3	3	3	3	3	2	17	知的	5
南鶴牧小	森 信行	107	88	91	79	71	87	523	4	3	3	3	2	3	18	情緒	4
聖ヶ丘小	高藤 浩	39	50	56	48	48	57	298	2	2	2	2	2	2	12		
西落合小	池田 泰章	64	53	77	76	72	76	418	2	2	3	3	2	2	14		
大松台小	森田 康之	61	59	66	83	83	67	419	2	2	2	3	3	2	14		
諏訪小	齋藤 幸之介	51	71	64	68	68	86	408	2	3	2	2	2	3	14	情緒	3
永山小	向井 美紀	48	58	56	50	53	51	316	2	2	2	2	2	2	12	知的	5
瓜生小	水野 裕司	31	27	32	41	30	35	196	1	1	1	2	1	1	7		
東落合小	大津 嘉則	52	46	55	65	50	48	316	2	2	2	2	2	2	12	知的	3
貝取小	鈴木 純一郎	30	33	29	35	30	31	188	1	1	1	1	1	1	6	情緒	5
豊ヶ丘小	卜部 敦彦	31	26	35	36	39	54	221	1	1	1	2	1	2	8		
愛和小	則末 久美子	43	41	57	63	49	62	315	2	2	2	2	2	2	12		
計		1,008	991	1,101	1,126	1,054	1,100	6,380	36	36	36	40	35	37	220		36

1~4年  
は35人  
学級。  
5・6年  
は40人  
学級

# 中学校 (9校、R5.5.1現在生徒・学級数)

学校名	校長名	児童数 (単位：人)				学級数 (単位：学級)				特支学級	
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	種別	数
多摩中	齊木 伸郎	130	152	141	423	4	4	4	12	情緒	6
東愛宕中	竹田 和彦	58	66	62	186	2	2	2	6		
和田中	生田目 将	121	139	122	382	4	4	4	12	知的	4
諏訪中	相楽 敏栄	112	120	110	342	4	3	3	10	知的	3
聖ヶ丘中	麻生 隆久	88	104	89	281	3	3	3	9		
鶴牧中	福田 洋一	143	142	153	438	5	4	4	13		
多摩永山中	佐藤 信雄	76	99	105	280	3	3	3	9		
落合中	権藤 義彦	125	107	111	343	4	3	3	10	知的	3
青陵中	岩崎 紀美子	81	97	109	287	3	3	3	9	情緒	5
計		934	1,026	1,002	2,962	32	29	29	90		8

全学年  
40人  
学級

# 多摩市の目指す教育

「誰一人取り残さない」教育の実現に向けて

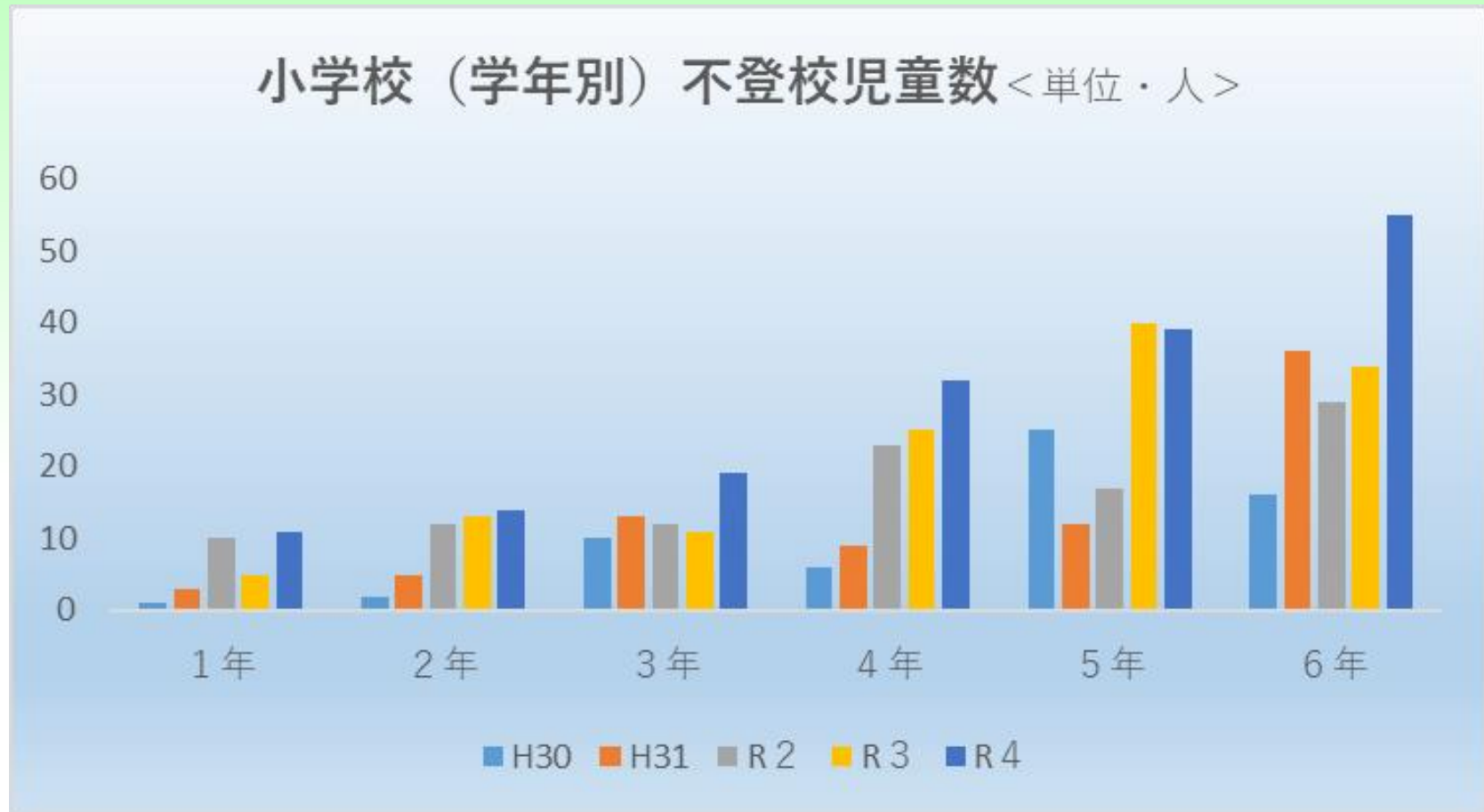
- 1 ESDの充実・発展
- 2 基礎学力の向上と英語教育の推進
- 3 特別支援教育の推進
- 4 不登校対策
- 5 教員の働き方改革

# 【不登校の現状】

# 小学校(学年別)不登校児童数

◎年度別・学年別

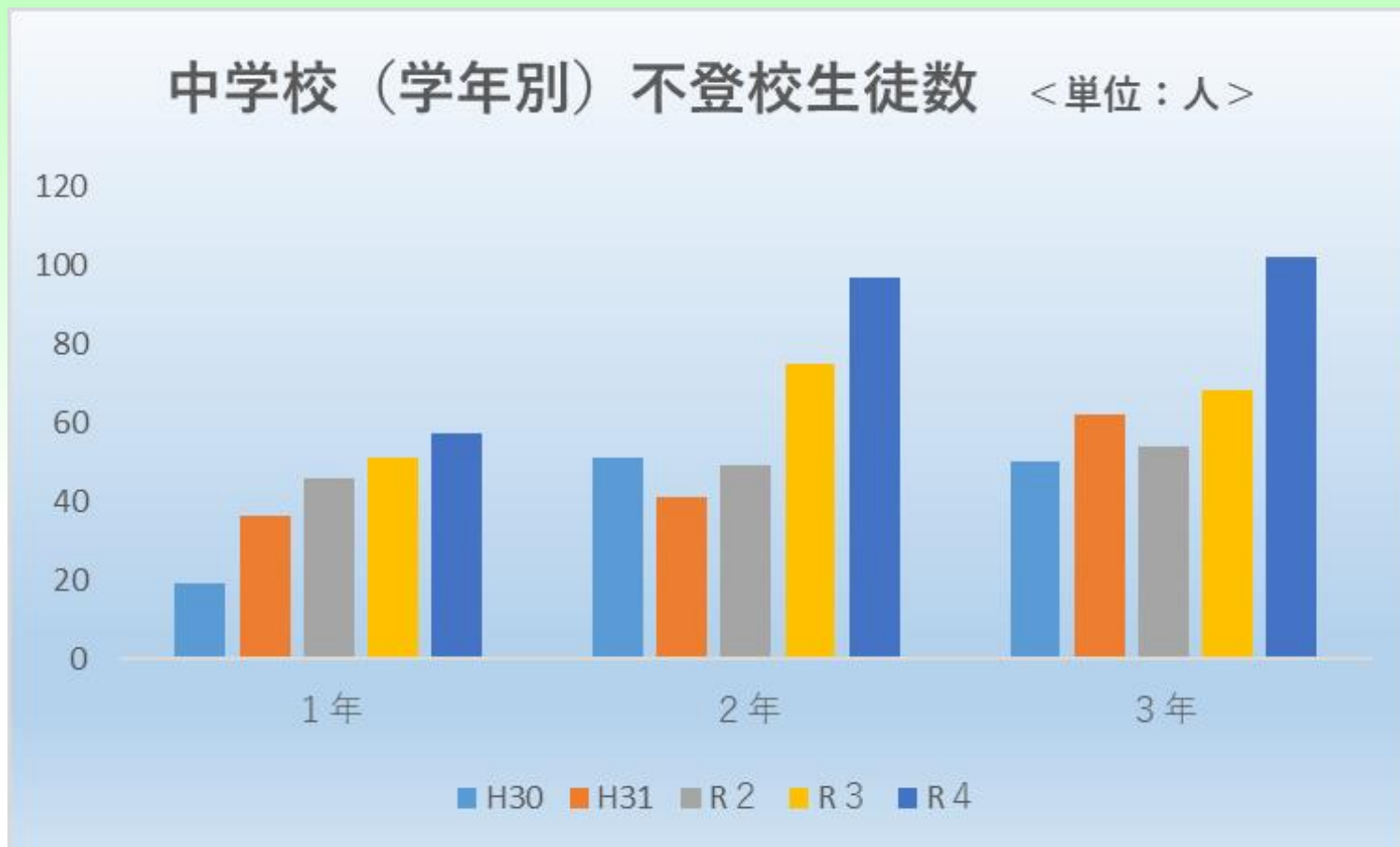
(不登校児童数とは、年間で30日以上登校しなかった人数)



# 中学校(学年別)不登校生徒数

◎年度別・学年別

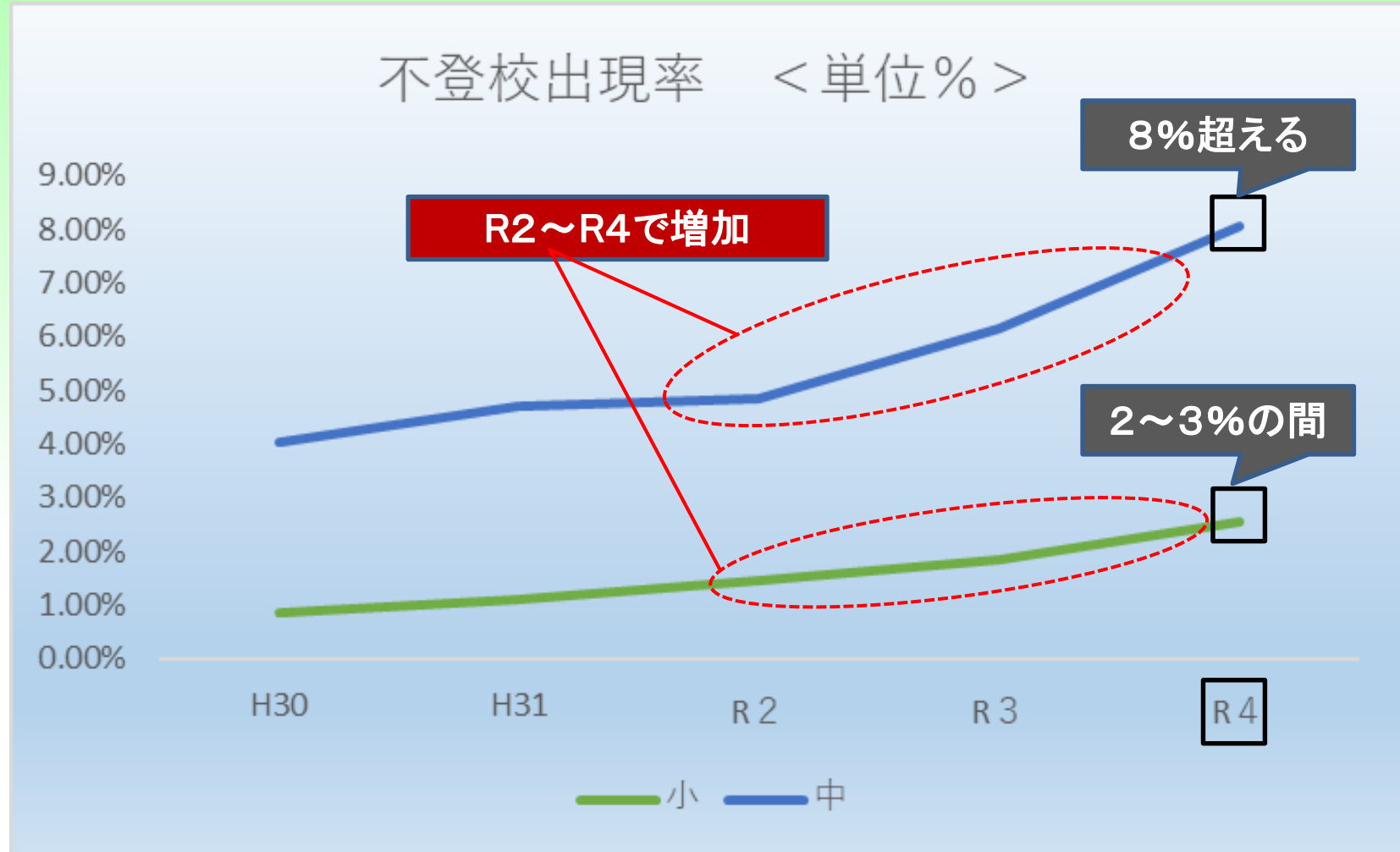
(不登校生徒数とは、年間で30日以上登校しなかった人数)





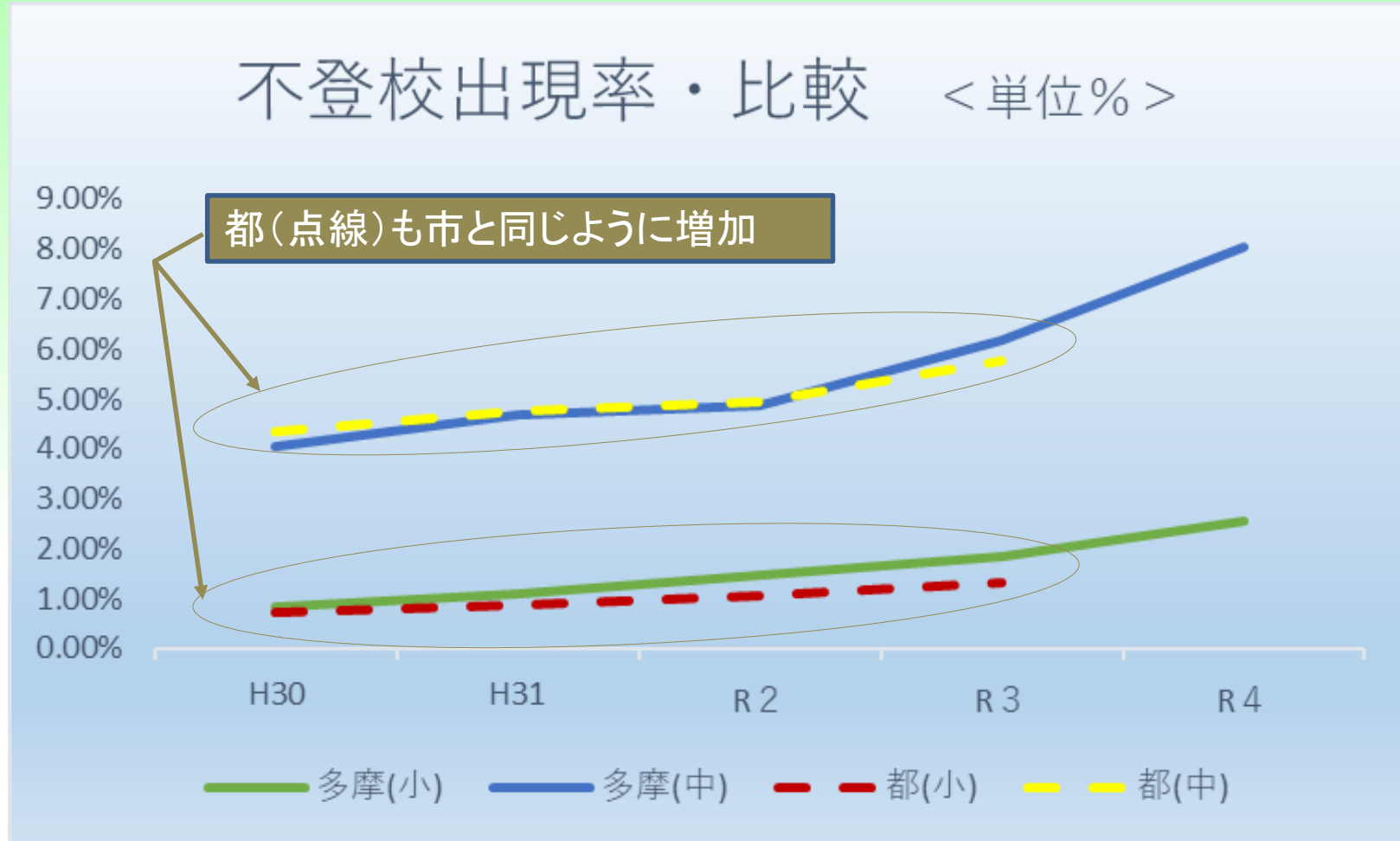
# 不登校出現率（多摩市）

## ◎ <多摩市>小・中不登校出現率



# 不登校出現率(比較)

◎ <多摩市⇔東京都>小・中不登校出現率



# 不登校数(1学級当たり)

## ◎R4小・中不登校数及び出現率

単位；人

校種	(小中) 不登校数	(小) 出現率	(中) 出現率
R4	約400人	約2.5%	約8.0%

要対策  
の強化

小学校 40人学級(5・6年)  
 $40人 \times 約2.5\% = 1人$

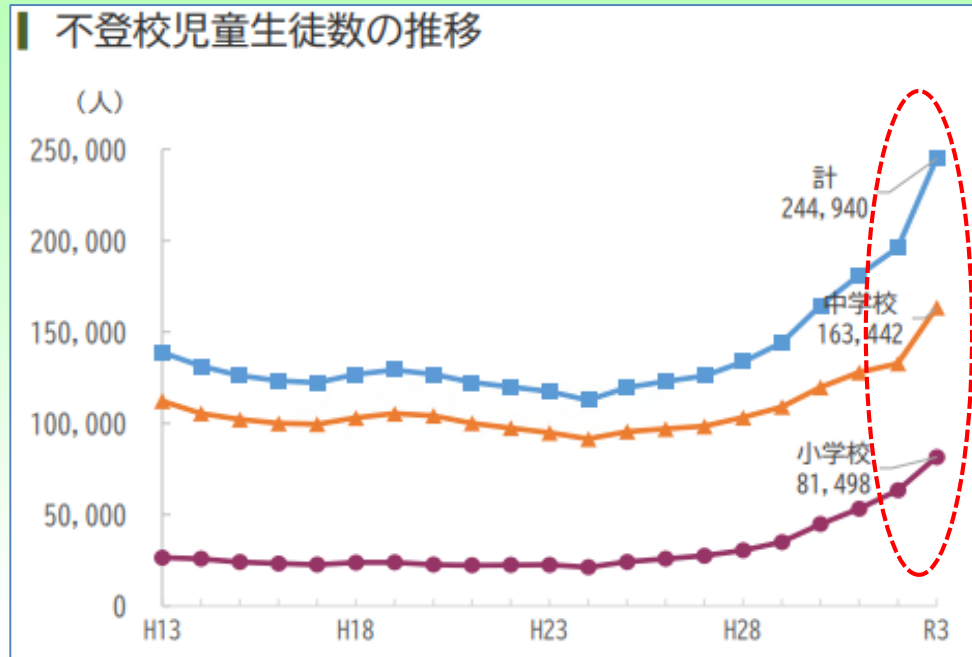
中学校 40人学級  
 $40人 \times 約8.0\% = 3,20 \div 3人$

多摩市の令和4年度の不登校の出現率から、1クラスあたり

小学校では1名、中学校では3名が不登校の可能性

# 文部科学省調査(令和3年度)

## ◎令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要



不登校児童生徒の63.7%に当たる156,009人の児童生徒が学校内外の機関で相談・指導等を受けている。

不登校児童生徒数が9年連続で増加、約55%の不登校児童生徒が90日以上欠席している。

新型コロナなど生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況や、学校生活において様々な制限がある中で交友関係を築くことなど、登校する意欲が湧きにくい状況にあったこと等も背景として考えられる。

不登校が増えている要因(市総合対策より)

- ・無気力・不安の占める割合が最も高い
- ・友人関係をめぐる問題、家庭に係る状況、学業不振、進路、生活リズムの乱れなど

不登校のうち

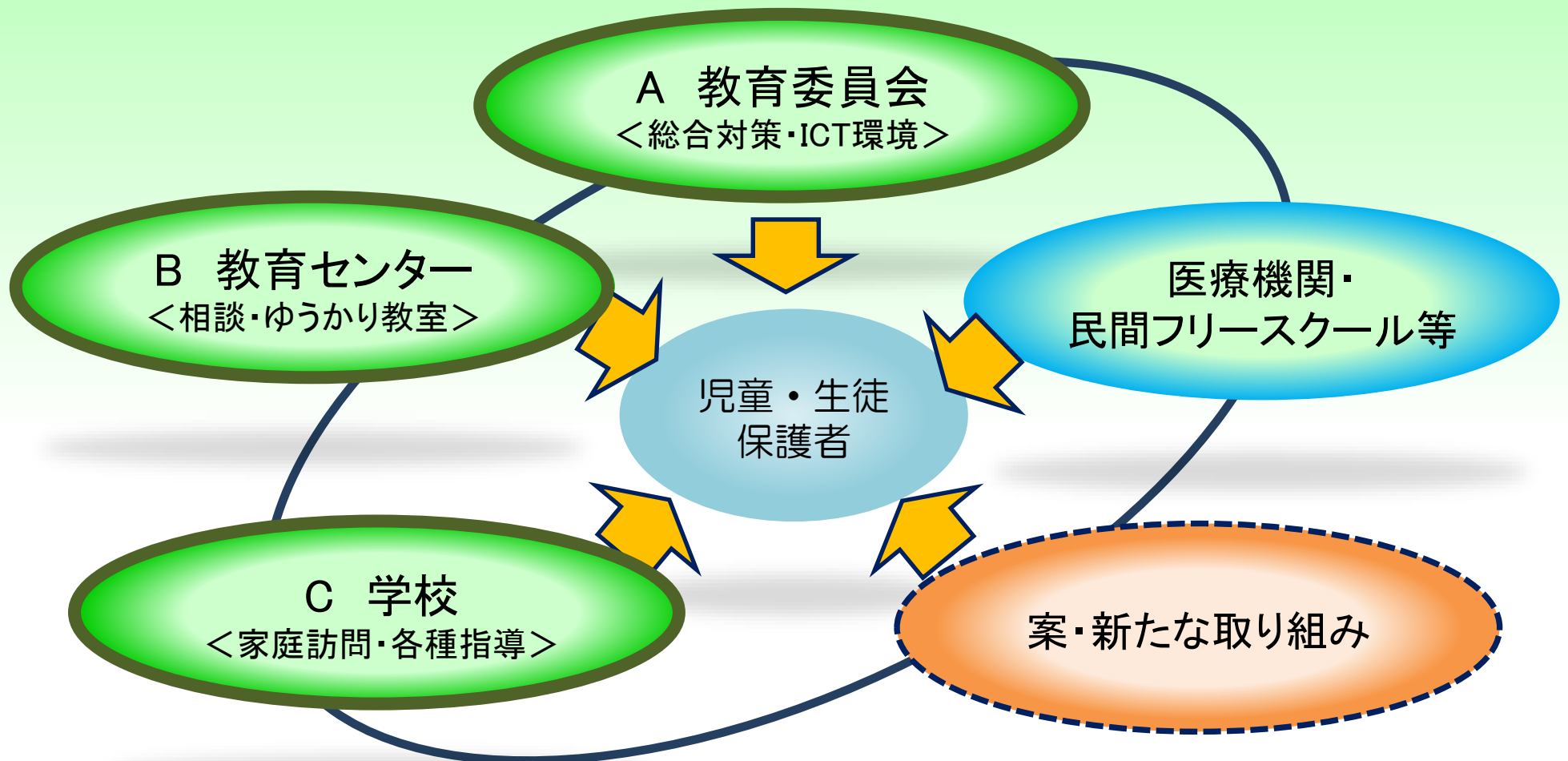
約1/3が孤立化

約1/2が長期化

# 【不登校対策の取り組み】

# 不登校の児童・生徒の支援

◎多様な背景の不登校児童・生徒が「安心できる居場所」の確保



# A教育委員会の取り組み



## (1)不登校児童・生徒数増加

- ・子供を取り巻く環境の変化(少子化、共働き家庭増、虐待・ネグレクト、ヤングケアラー等)
- ・全国的に不登校児童・生徒が増加するなか多摩市で全国・都を上回る増加率

## (2)多摩市の主な取り組み

- |         |                   |
|---------|-------------------|
| 平成2年～   | ①不登校対策検討委員会設置     |
| 令和2年11月 | ②不登校総合対策策定        |
| 令和3年7月  | ③瓜生小特例校設置中断(H31～) |
| 令和4年～   | ④他地区と特例校広域設置検討    |

## ▼令和2年度策定・不登校総合対策

### ＜基本的な考え方＞

- 不登校はどの児童・生徒にも起こり得る(進路や社会的自立への支援)
- 不登校には多様な要因や複雑な背景がある(支援のネットワーク構築)
- 不登校は、「起こるまで」と「起こってから」で事態が異なる(気持ちに寄り添う)

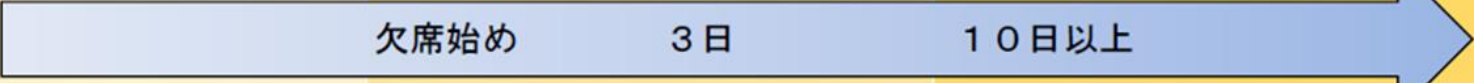

# A教育委員会の取り組み

## ◎ 4つの目標と12の対策

<p><b>目標1 学校の対応力の向上</b></p> <p>対策① 共通の指針やガイドラインの整備 対策② 的確なアセスメントのための手だての充実 対策③ 教育相談の充実 対策④ 家庭支援の充実</p>	<p><b>目標2 コミュニケーション能力の向上を促す指導の充実</b></p> <p>対策⑤ 不登校児童・生徒への訪問指導・支援の充実 対策⑥ 各学校、適応教室におけるソーシャルスキルトレーニングの充実</p>
<p><b>目標3 社会的自立を促す指導の充実</b></p> <p>対策⑦ 各学校、適応教室におけるキャリア教育の充実 対策⑧ キャリアガイダンス機能の充実</p>	<p><b>目標4 学習環境、学習支援・指導の充実</b></p> <p>対策⑨ 中学校不登校特例校の設置の検討 対策⑩ 適応教室における学習支援の充実 対策⑪ 家庭における学習支援の充実 対策⑫ 各学校における補充学習の充実</p>



# A教育委員会の取り組み

支援	出席状況 		
学校内	<p><b>未然防止</b></p> <p>欠席を始める前の状態 全ての児童・生徒への支援</p>	<p><b>早期支援</b></p> <p>欠席始めの状態 休み始めた児童・生徒への支援</p>	<p><b>長期化への対応</b></p> <p>欠席が増えている状態 長期間欠席している児童・生徒への支援</p>
学校内	<ul style="list-style-type: none"> <li>①共通の指針やガイドラインの整備</li> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> <li>③教育相談の充実</li> <li>⑥学校での SST の充実</li> <li>⑦学校でのキャリア教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①共通の指針やガイドラインの整備</li> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> <li>③教育相談の充実</li> <li>④家庭支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①共通の指針やガイドラインの整備</li> <li>⑤不登校児童・生徒への訪問指導・支援の充実</li> <li>⑧キャリアガイダンス機能の充実</li> <li>⑪家庭における学習支援の充実</li> <li>⑫学校での補充学習の充実</li> </ul>
学校外（関係機関）	<ul style="list-style-type: none"> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> </ul>	<p style="text-align: center;"></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> <li>④家庭支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④家庭支援の充実</li> <li>⑥適応教室での SST の充実</li> <li>⑦適応教室でのキャリア教育の充実</li> <li>⑧キャリアガイダンス機能の充実</li> <li>⑨中学校不登校特例校の設置の検討</li> <li>⑩適応教室での学習支援の充実</li> </ul>

# B教育センター(発達支援室含む)の取り組み

- ・毎週月曜日から金曜日の8時45分から15時まで(教育センター4階)
- ・経験豊富な非常勤教員4名で適応指導教室を運営

## 不登校相談

- ・心理士等による相談。申し込みは学校から
- ・心理検査や医療機関紹介し、ゆうかり教室やフリースクール案内

## ゆうかり教室

- ・生活リズムを整え、学習やコミュニケーション能力の向上
- ・R4から「こあらタイム」導入(毎週火曜、星槎学園講師による指導)

## 学校連携

- ・スクールソーシャルワーカー及び社会福祉士が学校と連携
- ・関係機関紹介、相談や家庭訪問の実施

## ICTの活用(【R3.4~】GIGAスクール端末利用開始)

ゆうかり教室に登録した児童・生徒向けに、ICTを活用したe-ラーニング学習【すらら】を提供。GIGAスクール構想で配布したIPADにより家庭で利用も可能。

# B教育センターの取り組み

## ◎令和4年度ゆうかり教室指導状況

単位；人

校種	在籍 (申込)	面接	通室	復帰	通室者 復帰率
小学校	34	31	24	9	46%
中学校	39	35	32	12	25%
計	73	66	56	21	34%

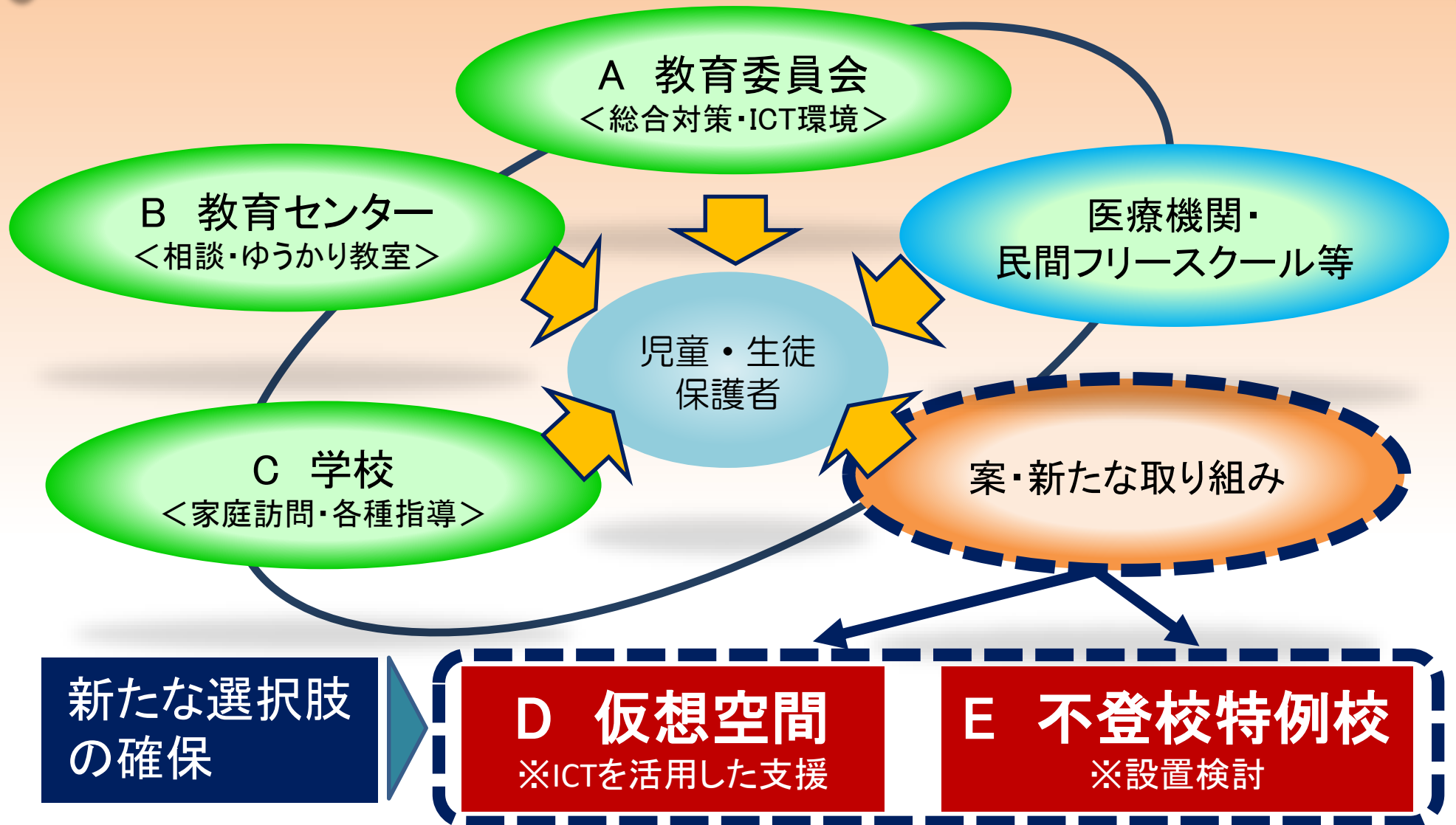
### 不登校対策の考え方

- 学校復帰だけが選択肢ではなく、不登校の児童・生徒や保護者の状況や気持ちに寄り添った支援の展開が必要(全国的にも不登校の1/3は、どこともつながらず、家庭だけで抱えている。多摩市で令和4年度だと約140名程度)
- 不登校の児童・生徒や保護者が選ぶことができる選択肢の確保が重要

# C学校の取り組み

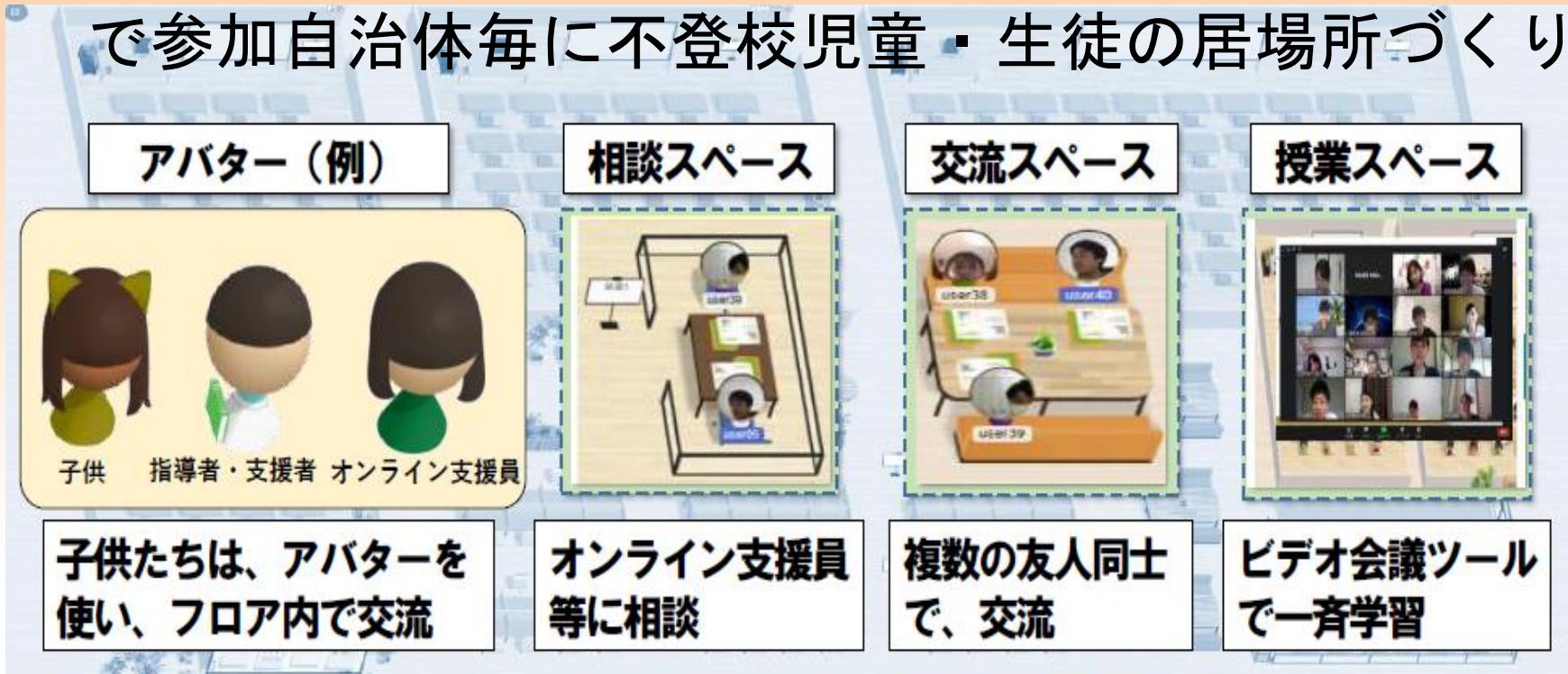
支援 学校内	出席状況 未然防止 欠席を始める前の状態 全ての児童・生徒への支援	欠席始め 3日 早期支援 欠席始めの状態 休み始めた児童・生徒への支援	10日以上 長期化への対応 欠席が増えている状態 長期間欠席している児童・生徒への支援
学校内	<ul style="list-style-type: none"> <li>①共通の指針やガイドラインの整備</li> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> <li>③教育相談の充実</li> <li>⑥学校での SST の充実</li> <li>⑦学校でのキャリア教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①共通の指針やガイドラインの整備</li> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> <li>③教育相談の充実</li> <li>④家庭支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①共通の指針やガイドラインの整備</li> <li>⑤不登校児童・生徒への訪問指導・支援の充実</li> <li>⑧キャリアガイダンス機能の充実</li> <li>⑪家庭における学習支援の充実</li> <li>⑫学校での補充学習の充実</li> </ul>
学校外 (関係機関)	<ul style="list-style-type: none"> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> </ul>	<p style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">学校と関係機関との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②的確なアセスメントのための手だての充実</li> <li>④家庭支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④家庭支援の充実</li> <li>⑥適応教室での SST の充実</li> <li>⑦適応教室でのキャリア教育の充実</li> <li>⑧キャリアガイダンス機能の充実</li> <li>⑨中学校不登校特例校の設置の検討</li> <li>⑩適応教室での学習支援の充実</li> </ul>

# 不登校対策の新たな取り組み(案)



# D 仮想空間 (VLP事業) のイメージ

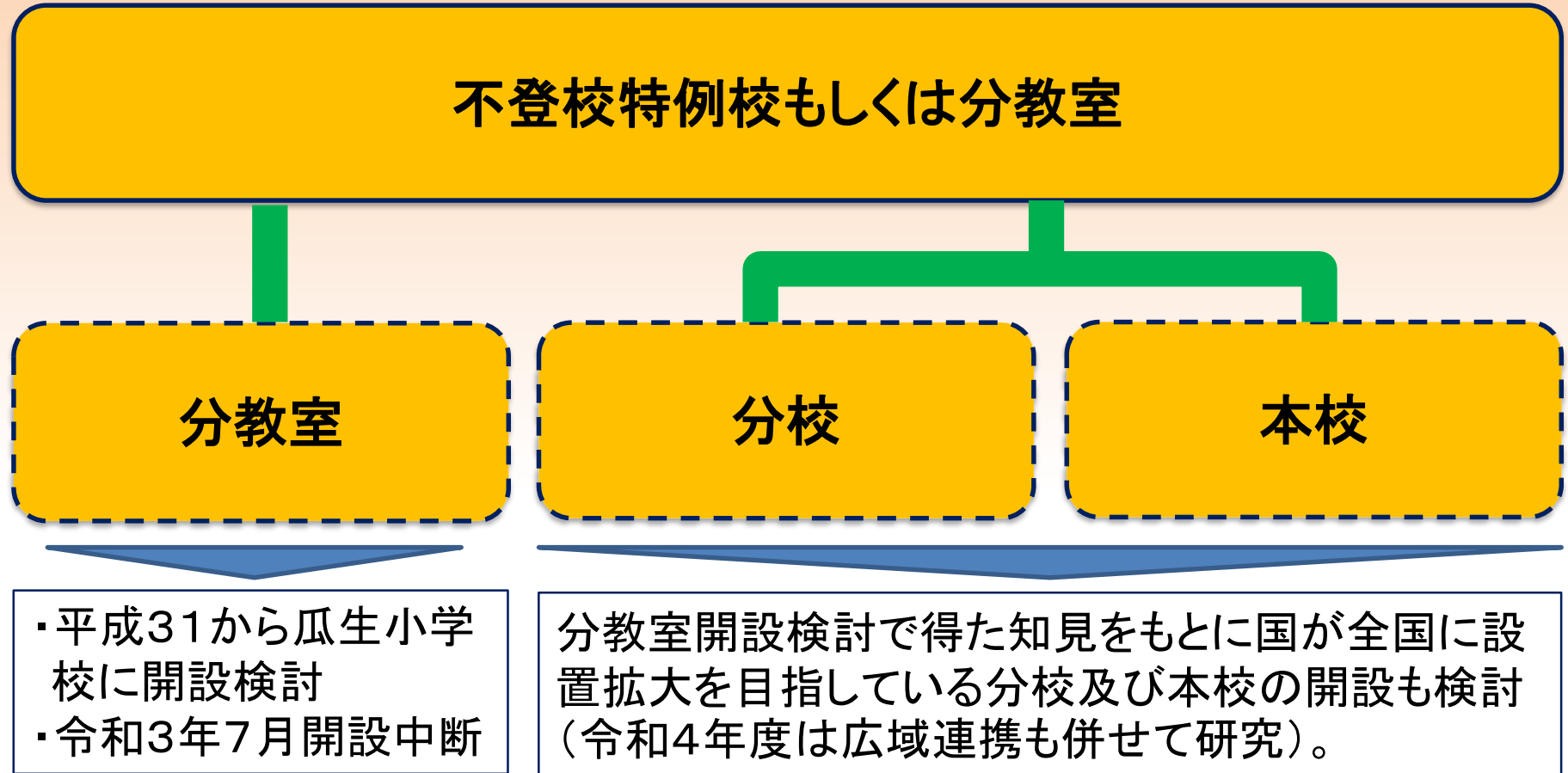
◎東京都が開設するオンラインのプラットフォーム上で参加自治体毎に不登校児童・生徒の居場所づくり



◆自治体が利用者にアカウント発行することで自治体の部屋に入室が可能に。なお令和5年度は都が日本語指導の部屋も開設予定。

# E 不登校特例校設置検討

◎不登校児童・生徒の安心できる居場所づくり



# 多摩市教育委員会

多摩市の不登校対策  
の説明は以上です。  
ありがとうございました。

多摩市教育委員会 教育部教育指導課  
〒206-0025 東京都多摩市永山1-5